

2016ひろしま自治体学校リレートーク

広島県における 子ども・子育て支援新制度施行後 の現状調査報告

広島県保育団体連絡会 会長

村上真理

2016/10/23 (日)

子ども・子育て支援新制度とは

子ども・子育て関連3法に基づく制度 2015年4月より実施

1. 認定こども園、幼稚園、保育所を通じた共通の給付および小規模保育等への給付の創設
2. 認定こども園制度の改善
3. 地域の実情に応じた子ども・子育て支援の充実（利用者支援・地域子育て支援拠点・放課後児童クラブ）
4. 基礎自治体（市町村）が実施主体
5. 社会全体による費用負担
6. 政府の推進体制

国や市町村が保育の実施に責任を負う従来の公的制度を解体し、直接契約の仕組みを基本とする制度であり、保育の格差が生じやすい制度

調査の目的と方法

▶ 目的

2016年4月1日現在の広島県における
子ども子育て支援新制度の施行状況を明らかにし
全ての子どもに必要な保育を平等に保障するよう
国や県に要請する資料を作成すること

▶ 方法

調査期間 2016年4月11日～6月末

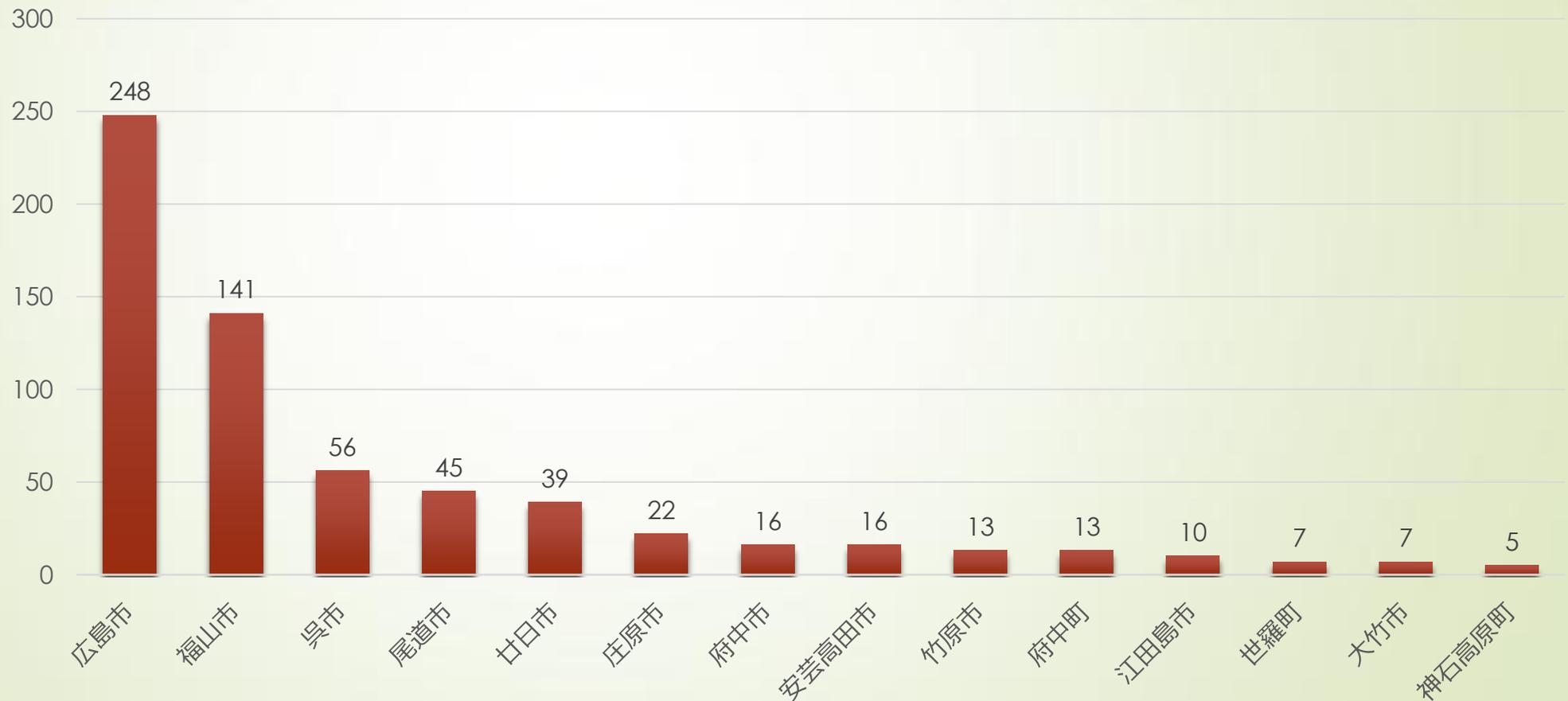
調査対象 広島県内23自治体

調査方法 自記式アンケート（回答時間15分）

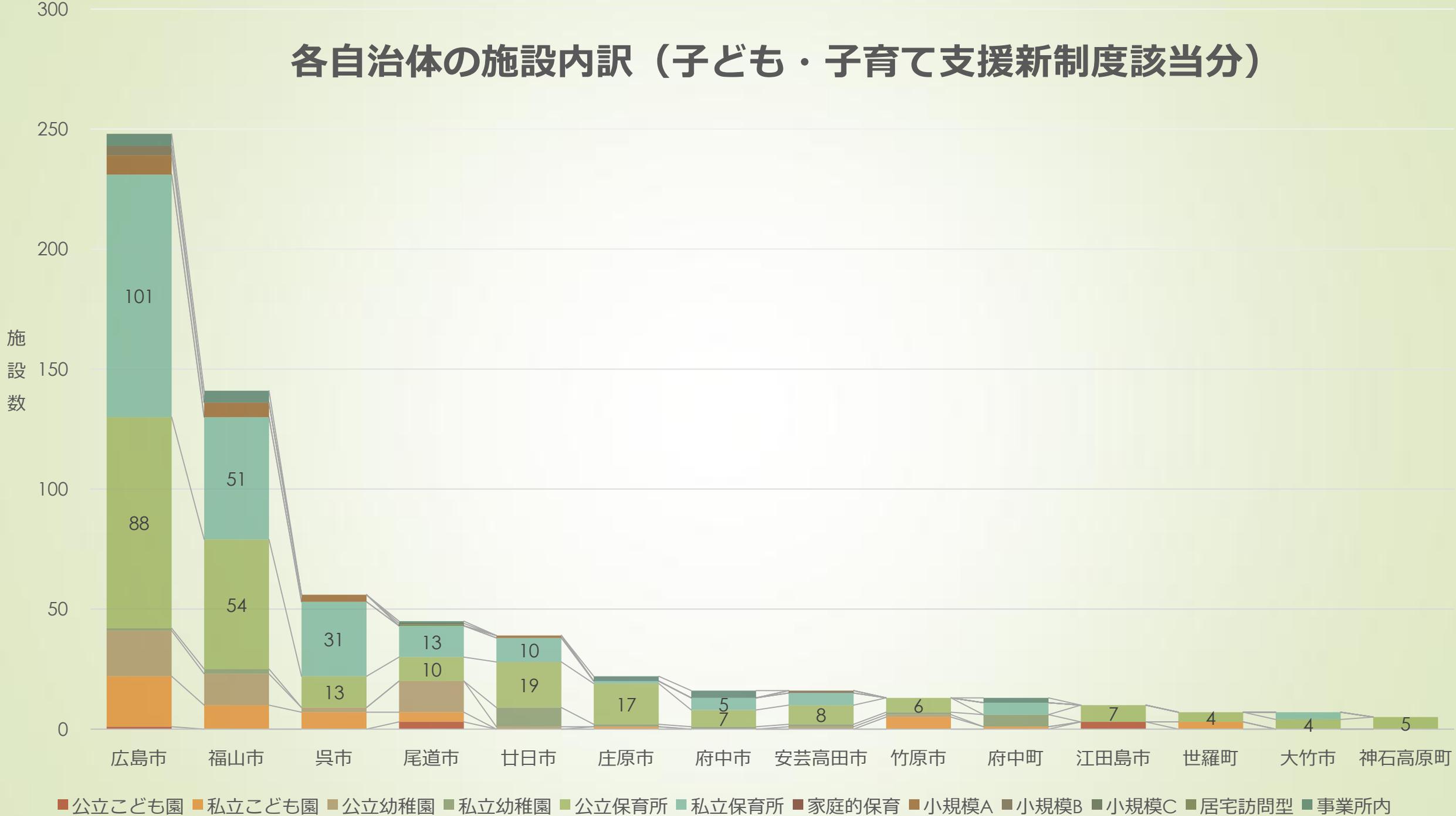
結果

➡ 回収率 60.9% (14/23自治体)

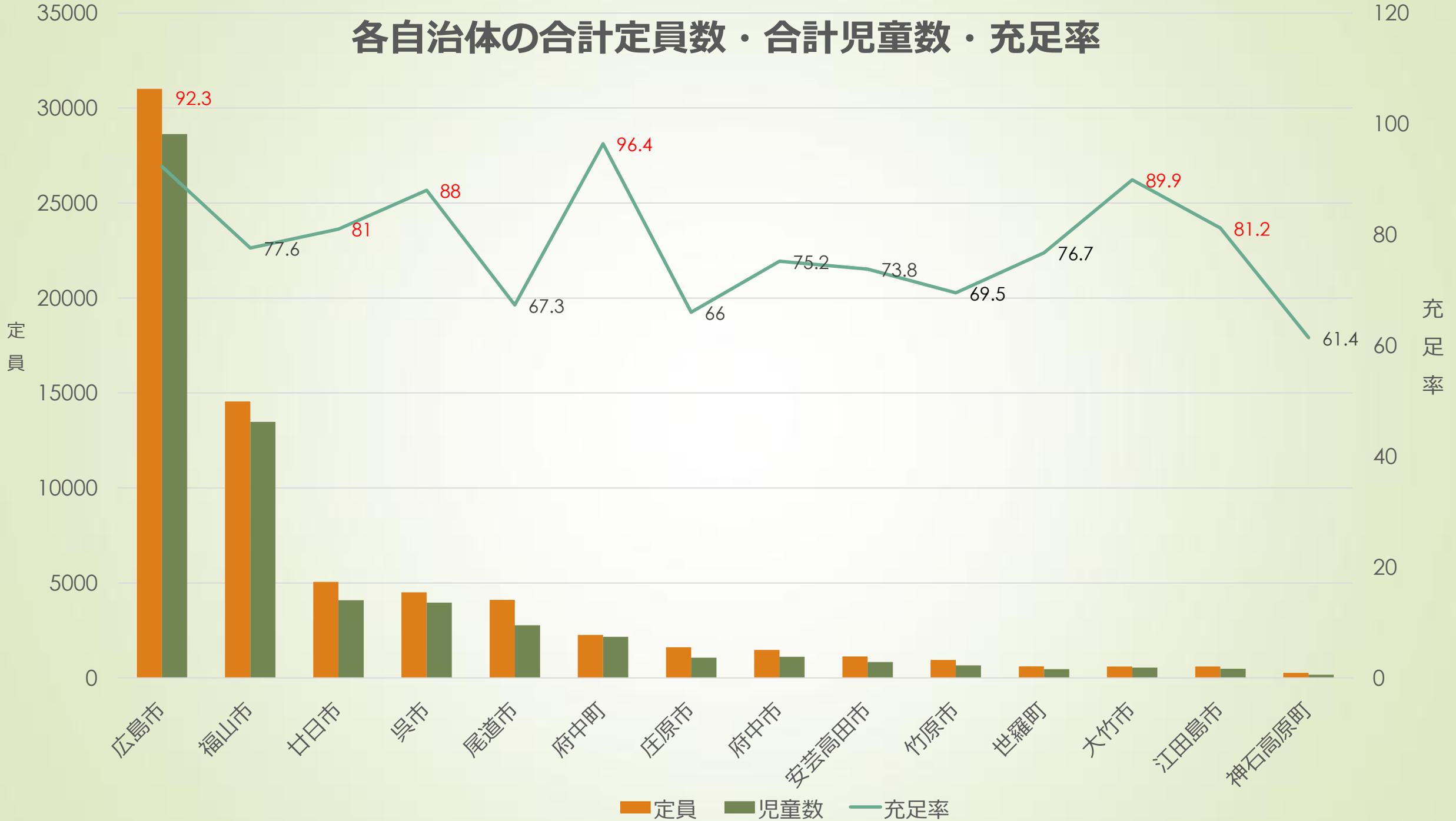
➡ 各自治体の合計施設数 (子ども・子育て支援新制度該当分)



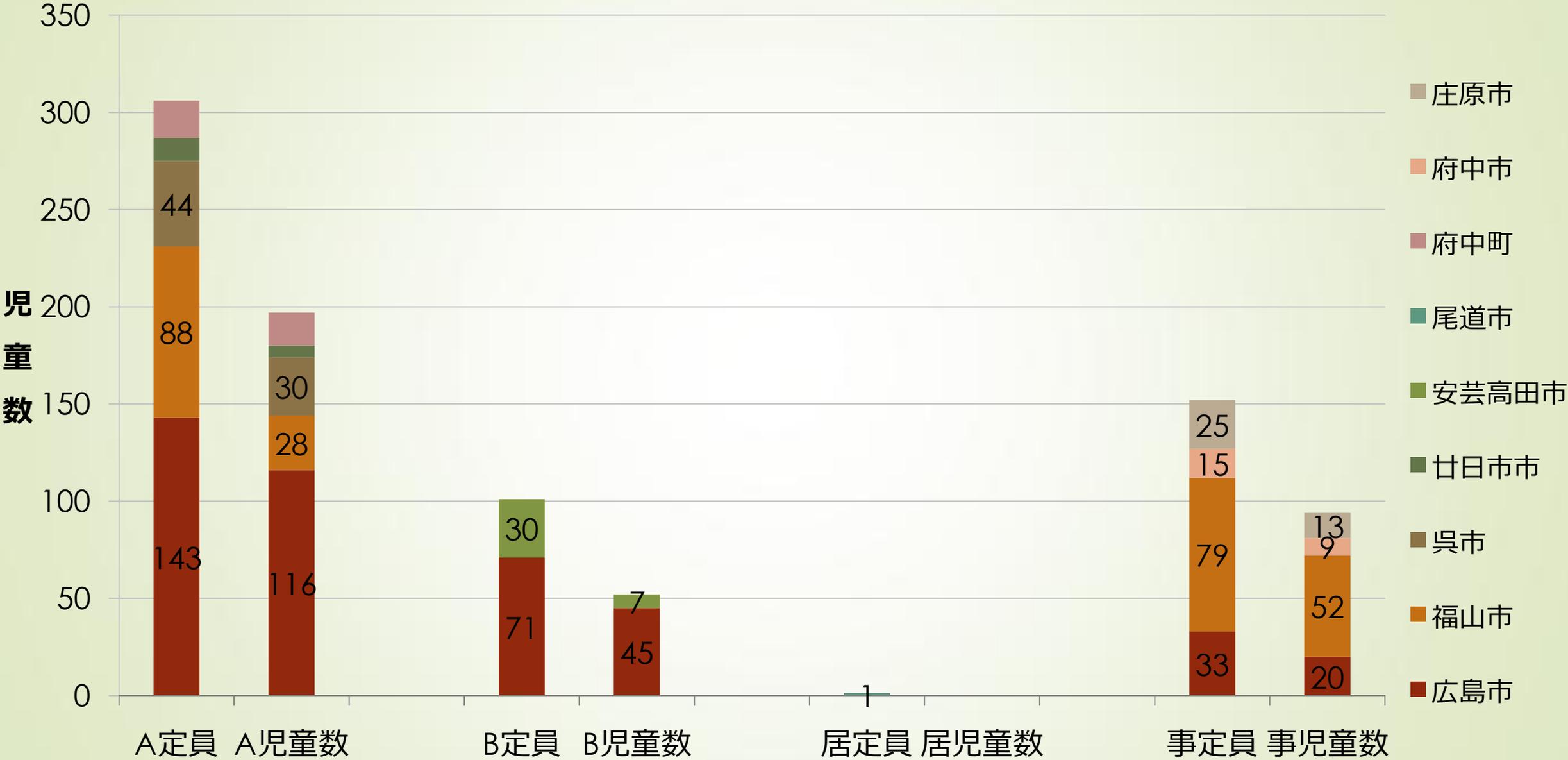
各自治体の施設内訳（子ども・子育て支援新制度該当分）



各自治体の合計定員数・合計児童数・充足率



各自治体における地域型保育施設の定員数・児童数 (子ども・子育て支援新制度該当分)



待機児童は広島市のみ

単位（人）

	0歳	1・2歳	3歳以上児	計
公立保育所	3	49	4	56
私立保育所	1	83	11	95
計	4	142	15	161

職員配置は全ての自治体が基準通りと回答

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
児童：職員	3：1	6：1	6：1	20：1	30：1	30：1

保育料基準の現状

国の基準通り1 独自の基準11 独自の支援

独自基準	呉市	18歳未満の子を3人以上扶養している場合、3人目以降の子は申請により3歳になる年度末まで無料
	府中市	階層を決定する際に年少扶養控除及び特定扶養控除の上乗せ部分について対象となる扶養が3人以上いる世帯については控除の合ったものとして税額を再計算
	江田島市	国の基準を上限に市の規則で定める
	広島市	国の基準より引き下げ
	廿日市市	3子目無料化、16歳未満児の3人目以降に関わる所得税軽減措置
	府中町	国の基準を下回る保育料、みなし寡婦（夫）控除
	神石高原町	"国の定める基準の50%、18歳未満第3子以降の保育料半額 18歳未満第2子以降の納入済保育料の補助"
独自支援	世羅町	町で定める基準額の半数を賦課（条件有）
	庄原市	第2子保育料について年収制限や年齢制限を設けず半額 第3子保育料について年収制限や年齢制限を設けず無料

職員の独自加配

加配あり5 加配なし7 無回答2

自治体名	独自加配の例
呉市	呉市が認めた障がい児1人につき0.5人
府中市	公立：障がい児加配として（加配の必要な）児童3人につき原則1人の職員配置
尾道市	医師の診断を受け集中保育で配慮を要する障がい児童の3人に1人の割合で保育士を配置
大竹市	障がい児保育の実施に伴う職員配置基準 対象児童3人につき1人
廿日市市	障がい児加配，延長保育実施園に関わる加配，保育士配置

運営費加算

国の基準通り10 独自加算3 その他1

自治体	独自加算の例
府中市	定員に満たない私立保育所に対し定員払い事務費を支援 (4~9月)
尾道市	乳児保育, 障害児保育を行う私立保育施設に対し加算
広島市	保育士等処遇改善事業
府中町	障がい児保育において加配した保育士等に係る人件費等に対し 補助金を交付

運営費交付金

増額11 無回答2 変化なし1

将来構想

認定こども園へ移行3 統廃合5 その他5 現状維持1

将来	自治体	理由
認定こども園へ	呉市	教育・保育の必要量を確保するため
	尾道市	就学前の子どもに対する教育・保育と地域のすべての保護者に対する子育て支援を総合的に提供するため
	安芸高田市	人口減少により認定こども園へ統廃合する
統廃合	世羅町	地域によっては定員を大きく下回る施設があるため
	江田島市	耐震化, 老朽化対策および保育サービス拡充
	大竹市	施設の老朽化及び今後の児童数の動向を踏まえ再編
	廿日市市	限られた財源の中で持続可能な保育環境を整備するため。公立・私立の役割分担が必要であるため。
その他	府中市	耐震化改修計画等を検討課題としている
	福山市	保護者や地域のニーズに即した教育・保育環境の実現を図る
	庄原市	市立保育所再編計画に基づき保育所の適正配置に取り組み施設の効率的な運営に努める
	広島市	未定
	神石高原町	施設の老朽化等に伴う改修・改築等も含めて現在検討中

考察1

- ▶ 子ども・子育て支援新制度該当分の合計施設数は、各自治体における5歳年齢階級別人口に概ね比例していた。乳幼児一人当たりの施設数を算出すると、政令指定都市である広島市は、0～4歳人口55,044人に対し248施設と最も不足していた。一方で、庄原市は0～4歳1,214人に対し22施設と、最も余裕があった。
- ▶ 児童充足率は、広島市、大竹市、呉市、江田島市、廿日市市が、いずれも80%以上の高い割合を示した。これは、4月1日時点ですでに、入園可能な児童の許容数が非常に少ないことを意味する。特に、広島市は待機児童を有することから、年度初めの児童充足率が92.3%とほぼ定員に近い割合であることは課題である。また、大竹市は0～4歳人口865人、江田島市は0～4歳人口633人と、乳幼児の少ない地域なので、統廃合による施設再編により充足率を高めていた。

考察 2

- 職員配置は、すべてが基準通りとの回答を得たが、実際はそうではない施設が多数あることが広島県保育団体連絡会総会の出席者より報告された。
- 保育料基準は、各自治体で格差があり、独自の基準や支援を設ける自治体は、国の基準より引き下げていることが明らかとなった。
- 職員の独自加配は特別支援の必要な児童に対して行われていた。
- 運営費の独自加算や将来構想は自治体の事情により様々であった。

まとめとお願い

- 広島県における子ども・子育て支援新制度の実施状況には、各自治体で格差が生じていることが明らかとなった。今後も調査し続けたい
- 10/29-30 広島県保育団体合同研究集会へのご参加をお待ちしています！
- 保育署名へのご協力をお願いいたします！
- 11/6（日）こどもパレード いたします！

広島県保育団体合同研究集会

2016年10月29日(土) 30日(日)



記念講演

「小学校は楽しいところだよ！」

ぶっせん ひろのぶ
佛園 弘修 氏(広島都市学園大学 准教授)

会場

広島都市学園大学 広島市南区宇品西5丁目13-18

日程

29	12:30		13:30	15:00	15:30	17:00	
日	受付	オープニング 基調フォーラム	休憩	記念講演			
(土)							
30	9:00	10:00	12:00	13:00	15:00	15:30	16:00
日	受付	講座A	昼食	講座B	休憩	フィナーレ	
(日)	分科会打ち合わせ	分科会		分科会			

※分科会の開場は9:45にさせていただきます。

【主催】 第17回広島県保育団体合同研究集会実行委員会・広島県保育団体連絡会

【後援】 広島市 広島市社会福祉協議会 広島県保育問題研究会

広島県学童保育連絡協議会 豊かな保育をすすめる会 中国新聞社 テレビ新広島

広島テレビ 広島ホームテレビ 中国放送 広島エフエム放送

安心して子どもを生み育てられるように広島市の 保育予算を増やし保育行政の充実を求める要請書

広島市議会議長 殿

広島市 提出用

要請趣旨

待機児童の解消が全国的な社会問題になっています。広島市でも保育行政に寄せられる期待は大きく、住民の願いに寄り添う政策が求められています。これまで市は待機児童解消のために保育園等の整備を行い、定員増に努めてきましたが、2016年4月1日現在の待機児童数は161人で、昨年度より95人増えました。

共働き世帯の増加など、保育ニーズはますます高まっています。子どもたちが保育園で豊かに成長・発達するために、安心して預けられる保育園の整備を市の責任において行う必要があります。またそこで働く職員には高度な専門性が求められており、職員が健康にいきいきと働き続けるためには、その責任と専門性に見合う労働条件に改善しなければなりません。

財政状況が厳しい中だからこそ、広島市の将来のために子どもたちの成育環境の充実に努め、少子化対策・待機児童対策に力を注ぐべきです。これからも市町村の保育実施責任を果たし、広島市の保育を他都市に誇れるものにしていくために、以下の事項を要望します。

要請項目

1. ふくしま第二保育園をはじめ、公立保育園を廃止しないでください。
2. 待機児童は、公立保育園及び認可保育園の設置により解消してください。
3. 職員配置・施設などの基準を抜本的に改善してください。
4. 職員処遇を改善し、公立と私立保育園職員の賃金格差をなくしてください。
5. 保育時間の利用区分にかかわらず通常保育時間の利用ができるようにしてください。
6. 障がい児も安心して保育・子育てできるよう環境整備をしてください。
7. 3歳以上児の給食は主食を含めた完全給食にしてください。
8. 認可外保育施設に対しても、同じ広島に育つ子ども達を守る立場で、保育の最低基準を満たすよう指導・助成してください。

名前	住所	
	都道 府県	郡 市
	都道 府県	郡 市
	都道 府県	郡 市
	都道 府県	郡 市